

第5回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 令和2年10月28日（水）午後2時より午後3時40分まで

協議内容

- ・地域包括支援センター向日葵より第1層への課題提示が行われた。内容としては「ICT活用によるつながりの維持・拡大」。ウェブツールを使用した多職種連携会議や介護予防教室、世代間交流についての発表が行われた。
- ・楽Café（認知症本人交流会）は11/7に第7回目を開催予定。
- ・認知症の方のヘルプマークの利用について意見交換が行われた。ヘルプマークの利用促進や市独自の作成を検討した方がいいのではないかなどの意見が出た。

各機関の報告

1 各選出機関の活動状況について

- ・基幹型地域包括支援センター 9/29 地域包括支援センター担当職員研修「地方独立行政法人 市立東大阪医療センター地域医療連携室と地域包括支援センターとの意見交換会」 参加者数は27名。貴重な意見交換の場になった。
- ・地域包括支援センター 10/22 地域包括支援センター連絡調整会議 コロナ禍における地域包括支援センターの動きについて意見交換を行い、特に認知症カフェの内容や仕様について意見がでていた。
- ・訪問看護事業者部会 9/29 管理者会議 フットケアについて製薬会社より講義を受けた。本日は久しぶりに対面での管理者会を実施予定。地域のサロンの参加人数が減っている。顔の見える関係づくりの重要性を改めて実感しており、少人数でのそのような機会をもつことを検討している。
- ・介護支援専門員連絡会 毎月の幹事会の内、半分をWEB、半分を集合して行っている。徐々に日常が戻りつつあると感じているが、入院中の面会制限により本人も家族ストレスを感じている。
- ・布施医師会 10/24 布施緩和ケア研修会 ZOOMにて開催し、参加者180名。認知症初期集中支援チーム 布施 127件エントリー/82件終了
- ・河内医師会 10/4 PCR検査集合契約締結
10/22 河内在宅緩和ケア研究会第11回事例検討会 20名以上の参加があった。
11/8 大阪府医師会医学会総会 在宅医療介護連携推進事業について発表予定
認知症初期集中支援チーム 河内 7月～10月の新規ケースは10件
- ・枚岡医師会 PCR検査集合契約件数は26件
多職種連携会議はウェブを使用して開催されている
- ・市立東大阪医療センター 9/17 緩和ケア研修会「緩和ケアチームが介入した病状緩和の症例報告」 参加者数は22名（この内院外3名）
10/1 緩和ケア研修会「苦痛スクリーニングから始まる緩和ケア」参加者数は35名（この内院外8名）
10/16 NST勉強会及び11/5 緩和ケア研修会「看取りをむかえる患者家族のケアについて～緩和ケア病棟から伝えたいこと～」は職員に新型コロナウイルス感染症の感染が判明したため中止
- ・社会福祉協議会 「東大阪市ダイヤモンド婚・金婚夫婦のつどい」中止に伴い記念品を送付。高齢者振り込め詐欺被害等防止機器の今年度分の貸し出し台数が上限に達した。
- ・地域包括ケア推進課 近畿大学 谷本准教授協力による筋トレ動画「元気に筋肉を鍛える体操(愛称：げんきん体操)」が完成。11月4日より市の公式YouTubeで公開し、DVDも配布する予定。
10/23 オレンジチーム連絡会 3チームになってからの初めての会議
12/16 楽Café 弁当 認知症当事者が市役所職員にお弁当の注文受付・配達を行う。